

プレゼンテーション評価シート
(環境生命化学実験（化学系）)

口頭伝達力	1 Time management	規定時間を有効に活用した。
	2 Loudness of voice	大きく、聞きやすい声（最後列の学生に十分届くほど）で発表できた。
	3 Posture & eye contact	Posture（姿勢）が適切で（下や原稿ばかり向いていない）、eye contact（アイコンタクト）を数回行った。
	4 Visual aids	物や図を示しながら説明を行うなど、視覚的な効果を活用した。
	5 Correct pronunciation	明瞭な発音であった。
	6 Intonation	重要な語句を強調していた（暗記したままの棒読みになっていない）。
	7 Stress and pause	適切な場所に pause（休止）があり、文意の伝達を補助していた。
	8 Fluency	適度な速度で話し、流麗さがあった。
	9 Memorization (Confidence)	原稿を十分に暗記し、自信に溢れていた。
	10 Enthusiasms	原稿がよく練られ、丹念に準備されており、熱意が伝わってくる。
原稿およびPPT作成能力	1 Topics & thesis (objective)	Topic（テーマ）の目的を理解した thesis（メインアイデア）になっている。
	2 Introduction	適切で効果的な Introduction がある。
	3 Body (main points)	Body の main points が thesis に基づいて展開されている。
	4 Conclusion	適切で効果的な Conclusion がある。
	5 Length	プレゼンテーション全体の分量が適切である。
	6 Coherence	論旨が論理的に組み立てられている。
	7 Accurate information	図・表の表現が正確である。
	8 Grammar	文法的な誤りが少ない。
	9 Informativeness & persuasiveness	全体的に大学生として知性を感じられ、説得力のある内容である。
	10 Originality	内容に工夫が凝らされ、独創性がある。